



夏休みに
考えよう！

親子で学ぶ 情報モラル

近年ではスマートフォンや携帯電話を持ち始める年齢が低下し、子どもたちがインターネットやSNSに触れる機会が増えています。こうした環境から、子どもたちがネット上でのトラブルに巻き込まれるケースが全国的に見られ、柏市も例外ではありません。そこで今号では、子どもたちにスマートフォンや携帯電話の正しい使い方を楽しく学んでもらえるよう、クイズ形式で紹介します。

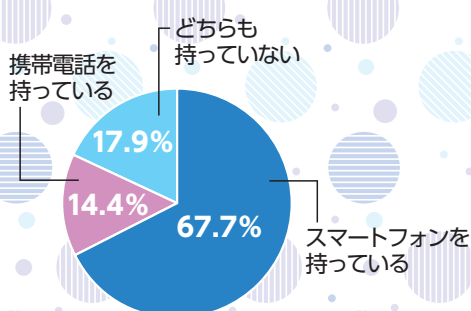
問い合わせ

少年補導センター ☎7164-7571 ・ FAX 7164-7599

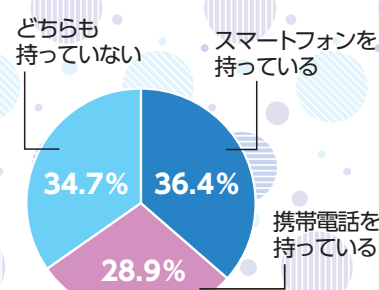


市内小・中学生の
スマートフォン・
携帯電話の
所持率は！？

中学2年生の所持率



小学6年生の所持率



アンケート結果では、対象の中学2年生が82.1%、小学6年生でも65.3%もの子どもたちがスマートフォンや携帯電話を所有しています。携帯電話等を持ち始める時期としては、卒業や入学など生活環境が変わるタイミングが多いようです。

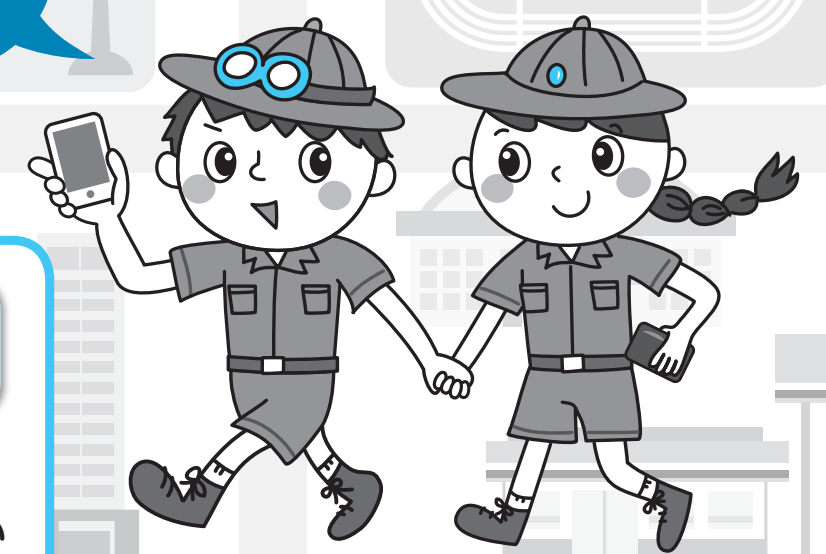
＜柏市立小学校13校、中学校10校を対象に、平成28年にアンケートを実施＞
提供：柏市学校警察連絡協議会より

この「かしわエデュ」(P1~4)は抜き取ってお読みください

情報社会の サバイバル クイズ

携帯電話やSNS等に関する
常識クイズの正解を選んで、
全問クリアを目指そう！
正解は1つとは限らないぞ！

みんなは
こんな時
どうする!?



クイズ1 グループメールに友達の悪口を書き込んでよい？

- いじめにつながってしまうのでよくない
- 法律に違反する可能性があるのでよくない
- グループ内のことなので書き込んでよい

クイズ2 友達の画像や動画を撮影して、許可なくSNSや動画サイトに投稿してもよい？

- 友達を人気者にしたいので、投稿してもよい
- 友達の個人情報が漏れてしまうので、投稿するのはよくない
- 法律に違反する可能性があるため、投稿するのはよくない

クイズ3 SNSに自分の名前や電話番号・住所等を載せてもよい？

- 個人情報を知られてしまう可能性があるためよくない
- 友達がたくさんできるので投稿してもよい
- 自分のことだから何を投稿してもよい

クイズ4 インターネットの掲示板に「学校に爆弾を仕掛けた」とふざけて書き込んでよい？

- ふざけただけなので書き込んでよい
- 学校へ登校できなくなるのでよくない
- 法律に違反する可能性があるためよくない

クイズ5 利用したことのないサイトからメールが送られてきたらどうする？

- 架空請求につながる可能性があるため、返信しない
- 返信すると個人情報が特定されてしまう可能性があるため、返信せず無視する
- 利用していないので、返信して確認する

クイズ6 SNS交流サイトで知り合った中学生から、会って遊びたいと連絡がきたらどうする？

- 多くの友達と交流できるので、連絡を取り合うだけならよい
- 相手が中学生とは限らないので、会うべきではない
- 同じ趣味を持つ仲間を楽しそうなので、今すぐ会う約束をする

クイズ7 子どもが使っているスマートフォンや携帯電話は誰のもの？

- 子どものもの
- 親子のもの
- 親のもの



クイズ1の答え
①・②

- ① 友達とのトラブルやいじめに発展したり、友達が学校に登校できなくなったりしてしまいます
- ② 名誉毀損(きそん)罪(〇〇さんはテストが10点なんてバカだなあ)や侮辱罪(〇〇くんは本当に足が短いなあ)等に当たる可能性があります
- ③ 仲の良いグループ内でも、自分の悪口が書き込まれたら嫌な気持ちになるはず。友達の悪口は絶対に書き込まないように！

クイズ2の答え
②・③

- ① 自分が撮影した友達の写真でも、必ず友達から許可を取る必要があります
- ② 個人情報が漏れることによって、ストーカー被害等につながる可能性があります
- ③ 肖像権やプライバシーの侵害等の法律に違反する可能性があります

クイズ3の答え
①

一度投稿した個人情報はなかなか消すことはできません。知らない人から連絡があったり、ストーカー被害にあったりする可能性があります。友達ができるとは限らないので、自分のことだからといって、個人情報を載せることはやめましょう！

クイズ4の答え
②・③

- ① ふざけてやったことでも、大きな事件につながります。絶対にやってはいけません
- ② 問題が解決するまで登校できなくなり、先生や友達に迷惑を掛け授業等にも影響が出てしまいます
- ③ 犯行予告は犯罪です。威力業務妨害罪に該当する可能性があります

クイズ5の答え
①・②

- ① 一度連絡するとしつこく連絡が入ったり、架空請求をされたりする可能性があります
- ② 発信履歴等から個人情報が公開されてしまう可能性があります
- ③ 利用していないからといって連絡してはいけません。知らないサイトからの請求があった場合は、返信しない・電話しない・無視することを徹底し、判断がつかないときは必ず家族に相談しましょう

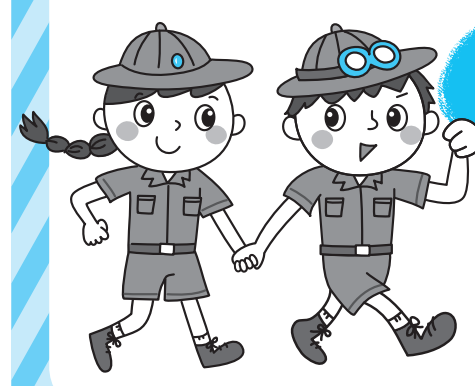
クイズ6の答え
②

SNS上では相手の情報が全て正しいか判断が付きません。大人などの「なりすまし」から、性的被害やストーカー被害等に遭う可能性があります。むやみに連絡を取り合わないことも大切です。

クイズ7の答え
③

保護者が契約をし、保護者が代金を支払っているため、スマートフォンや携帯電話は「買ってもらったもの」ではなく「親から貸してもらっているもの」という認識を持ちましょう。

さあ、
クイズの
答え合わせ！



親子で決めよう！～わが家のルール10か条～

子どもの頃からスマートフォンや携帯電話を使うことは決して悪いことではありません。使い方さえしっかり守れば、いろいろな情報を得られ、たくさんの友達と簡単にコミュニケーションをとることができます。そのためにも、日頃からルールをしっかり守って携帯電話等を正しく使うことが大切です。お薦めの10か条を参考に、子どもの意見も取り入れながら家族内でルールを作り、楽しく携帯電話を使いましょう！

わが家のスマホ・携帯ルール10か条

- その1 21時以降はスマホをしません
- その2 食事中、勉強中はスマホをしません
- その3 LINEやTwitterなどに、悪口を載せません
- その4 使用する場所はリビングとします
- その5 お父(母)さんに隠れて通話はしません
- その6 歩きスマホや、ながらスマホはやりません
- その7 不審なメール等があれば、お父(母)さんにすぐに報告します
- その8 個人情報(写真動画を含め)は、無断で送ったり、書き込んだりしません
- その9 その他、気付いたことがあればルールに追加します
- その10 ルールを破ったら、お父(母)さんに従います。文句は言いません

10か条を参考に、の中は親子で話し合って決めましょう！

2017年8月15日 柏 花子

イマドキ授業を 潜入レポート!

今年の4月から市立中学校の全1年生を対象に、ネットいじめに関する新たな授業「私たちの選択肢」が始まりました。この授業は、ネットをはじめとするいじめにおいて「脱傍観者」を目指した、全国でも類を見ない画期的な授業です。今回は、その様子をレポートします。

問い合わせ 学校教育課 ☎7191-7367・FAX 7191-1212
 生徒指導室 ☎7191-7210・FAX 7191-1212

ネットいじめ「脱傍観者」を目指した新たな授業がスタート!

授業のここが画期的!

この授業は、ネットいじめの早期発見と抑止力を生み出すことを目的としたもので、いじめの当事者以外の存在である「傍観者」にフォーカスした新しい試みです。いじめの傍観者にとどまろうとする意識を変え、ネットいじめを止める行動につなげようとする内容は、全国を見ても例はありません。また、授業で使用する映像教材「私たちの選択肢」は、柏市教育委員会と千葉大学・敬愛大学が共同で開発した映像教材となっています。



◀先生の熱の入った言葉が子どもたちにも響いています

なぜ1年生が対象?

1学期が始まった早い時期に、市立の全中学1年生を対象に実施されたこの授業。1学期は、各小学校から集まってきた新しい仲間たちと、親しいグループやクラスの雰囲気を作り始める大切な時期です。中学1年生のいじめの認知件数が多いこともあり、この時期に授業を行うことで、生徒一人一人がいじめに対する理解を深め、いじめを許さないクラスの雰囲気を作ることを期待して、実施しているとのことでした。

教材はストーリー仕立て

SNS上で起きたいじめに対し、自分がその目撃者(傍観者)になったら、どんな行動を選択するか。教材がストーリー仕立てになっているため、登場人物に自分を重ねやすく、考えやすいものになっています。生徒は用意された2つの選択肢のうちどちらかの立場を選び、どのように考えて選択をしたかについて、グループで意見交換を行いました。



◀お互いの意見を出し合い、自分の考えを深めています

子どもたちの選択肢を増やす

授業の中で、ある生徒はこんな感想を話しました。「いじめはいけないと思ってはいるけれど、勇気を出していじめを止めるような言葉が掛けられない。実際に行動に移したら、今度は自分がいじめられてしまうのではと考えてしまう」。そのような葛藤がある生徒も多いだろうと思います。

そこで、柏市教育委員会では、いじめを止めたいと思う生徒が実際に行動に移せる1つの選択肢として、また、いじめを受けている生徒のセーフティネットとして、匿名で報告や相談ができるアプリを導入しました。授業の最後にはこのアプリを紹介し、生徒に利用を呼び掛けました。

～取材を終えて～

自分はいじめとは無関係であり、いじめが起こったとしても当事者でなければ自分には関係ない、なるべく関わりたいくない、そういう気持ちを生徒たちが持っていたかもしれません。しかし、この授業を通して傍観者にもできることはあり、いじめに対する考え方や行動を生徒たちと一緒に学びました。

現代社会を生きる私たちにとって、今やインターネットやSNS

は生活の一部であり、切っても切り離せません。そんなネット社会において、自分がネットいじめの加害者・被害者になるだけでなく、傍観者の立場になることは十分考えられます。いじめを未然に防ぐために、学校やクラスなどの集団全体において、いじめを許容しない雰囲気や集団作りを目指すことが大切であることを、この授業から学びました。

STOPitが 利用できます

～市立中学校にお子さんが
 通うご家庭の皆さんへ～

柏市教育委員会では、市立中学校に通う生徒であれば、誰でも匿名で報告や相談ができるスマートフォンアプリ「STOPit」を利用できる環境を整え、1学期に授業を通してお子さんにお知らせしました。

いじめを受けている、もしくは友達がいじめられているなどの状況にあり、先生や保護者の皆さんに相談したくてもできない場合の選択肢の一つとして認識いただくとともに、あらためてお子さんと学校での様子などを話すきっかけにさせていただきたいと思っております。